

作成・改訂年月日 2016年6月7日

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学物質等及び会社情報

## 化学物質等の名称

製品名 713ネオシールドサフSP改  
 整理番号 90-05233-2  
 製品の種類 常温乾燥型変性アルキド樹脂塗料

## 会社情報

会社名 メグロ化学工業株式会社  
 住所 茨城県古河市下大野1768  
 担当部署 技術部  
 電話番号 0280-92-1221  
 FAX番号 0280-92-7147  
 緊急連絡先 0280-92-1221

## 推奨用途および使用上の制限

金属用プライマーサーフェーサー

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理的科学的危険性  
 引火性液体 : 区分2  
 健康に対する有害性  
 急性毒性 (経口) : 区分外  
 (経皮) : 区分外  
 (吸入:ガス) : 分類対象外  
 (吸入:蒸気) : 区分4  
 (吸入:粉塵) : 分類対象外  
 (吸入:ミスト) : 分類できない  
 皮膚刺激/腐食性 : 区分2  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2  
 呼吸器感受性 : 分類できない  
 皮膚感受性 : 区分外  
 生殖細胞変異原性 : 区分外  
 発ガン性 : 区分2  
 生殖毒性 : 区分1  
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分1 (呼吸器、中枢神経系、肝臓、腎臓、視覚器、全身)  
 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)  
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分1 (呼吸器、中枢神経系、肝臓、腎臓、  
 血液、視覚器、聴覚器)  
 区分2 (血管、脾臓)  
 吸引性呼吸器有害性 : 区分1  
 環境に対する有害性  
 水生環境有害性 (急性) : 区分2  
 水生環境有害性 (慢性) : 区分外  
 オゾン層への有害性 : 分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気  
 吸入すると有害 (蒸気)  
 皮膚刺激  
 強い眼刺激  
 発がんのおそれの疑い  
 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ  
 臓器 (呼吸器、中枢神経、肝臓、腎臓、視覚器、全身) の障害  
 眠気またはめまいのおそれ  
 長期または反復暴露による臓器 (呼吸器、中枢神経、肝臓、腎臓、血液、視覚器、聴覚器) の障害  
 長期または反復暴露による臓器 (血管、脾臓) の障害のおそれ  
 水生生物に有害

## 注意書き

## 「安全対策」

事前に安全データシートを入手し、全ての安全性注意を読み理解するまでは  
 取り扱わないこと。  
 この製品を使用する時には飲食または喫煙をしないこと。  
 火気のある場所、火花や静電気を発生するもの、高温熱源などの付近では絶対に使用しないこと。  
 また、電気設備や電気機器は防爆構造とし、機器類は全てアースをとること。  
 静電気対策を行い、帯電防止作業服、静電安全作業靴などを着用すること。  
 取り扱い作業場所では、密閉設備または局所排気装置を設けて、十分な換気を行うこと。

「応急処置」	<p>保護手袋、保護眼鏡、保護面など保護具を着用すること。          ミスト、蒸気、スプレーの吸入をしないこと。          屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。          中身を容器から出し入れする場合は、周囲にこぼさないよう注意すること。          取り扱い後、手洗い、うがい等を行うこと。          環境への放出は避け、容器は密栓しておくこと。          指定された用途以外には使用しないこと。          火災の場合には適切な消火方法をとること。(粉末、炭酸ガス、泡など)          漏洩の場合には、乾いた砂などに吸着させ回収すること。          吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。          気分が悪い時は医師に連絡すること。          ばく露またはその懸念がある場合、気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。          眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。          コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。          眼の刺激が続く場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。          皮膚(または毛髪)に付着した場合は、直ちに全ての汚染された衣類を脱いで取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。          汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。          皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。          飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当てを受けること。</p>
「保管(貯蔵)」	<p>容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。          子供の手の届かない場所に保管すること。</p>
「廃棄」	<p>環境への放出を避けること。          内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

## 3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物  
 化学名または一般名 常温乾燥型変性アルキド樹脂塗料  
 成分情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	含有量 [wt%]	化学式	CAS No	既存化学 物質番号	PRTR 法 政令番号
1	酸化重合型樹脂	10-15	-	-	-	非該当
2	トルエン	20	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> CH <sub>3</sub>	108-88-3	3-2	1種 300
3	キシレン	2.3	C <sub>6</sub> H <sub>10</sub>	1330-20-7	3-3	1種 80
4	エチルベンゼン	1.9	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> C <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	100-41-4	3-28	1種 53
5	メタノール	1-10	CH <sub>3</sub> OH	67-56-1	2-201	非該当
6	エタノール	0.1-1	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	64-17-5	2-202	非該当
7	イソプロピルアルコール	1-5	CH <sub>3</sub> CH(OH)CH <sub>3</sub>	67-63-0	2-207	非該当
8	1-ブタノール	0.1-1	C <sub>4</sub> H <sub>9</sub> OH	71-36-3	2-3049	非該当
9	イソブチルアルコール	1-5	C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O	78-83-1	2-3049	非該当
10	アセトン	1-5	C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> O	67-64-1	2-542	非該当
1 1	メチルイソブチルケトン	1-5	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O	108-10-1	2-542	非該当
1 2	酢酸エチル	5-10	C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub>	141-78-6	2-726	非該当
1 3	酢酸ブチル	0.1-1	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub>	123-86-4	2-731	非該当
1 4	酢酸イソブチル	10-15	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>2</sub>	110-19-0	2-731	非該当
1 5	ニトロセルロース	5-10	-	9004-70-0	8-176	非該当
1 6	二酸化チタン	1-5	TiO <sub>2</sub>	13463-67-7	1-558	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合	<p>蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。          医師の診断、手当てを受けること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>呼吸が不規則か止まっている場合、人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。          付着物は布で素早くふき取ること。          直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぐこと。再使用前に洗濯すること。          多量の水および石鹸または皮膚用の洗剤で十分に洗い流す。溶剤、シンナーは使用しないこと。          皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを行うこと。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに新鮮な流水で15分以上、注意深く洗うこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。          コンタクトレンズを着用していて容易に外せる際には外すこと。洗浄を続けること。          直ちに医師に連絡すること。</p>
飲み込んだ場合	<p>揮発性なので吐き出させてはならない。          水で口の中をよくすすぐこと。          誤って飲み込んだ場合、安静にし、直ちに医師の診断を受けること。</p>
予想される急性症状 及び遅発性症状	<p>吸入による呼吸器官への刺激、咳、息切れ、咽頭痛、頭痛、意識喪失。          飲み込みによる胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢。          接触による皮膚の刺激と脱脂及び眼の刺激、発赤、痛み。          過度の暴露で麻酔作用、頭痛、めまい、視野狭窄、吐き気、下痢及び意識喪失。          麻酔作用があり、また肝臓、腎臓および心臓に対して有害な作用を及ぼす。</p>
応急処置をする者の保護	<p>火気に注意する。救助者は送気マスク又は空気呼吸器を着用して活動する。          状況に応じて適切な眼・皮膚の保護具を着用する。          十分な換気を行う。</p>

## 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、炭酸ガス、泡（耐アルコール）消火剤、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状水
特有の危険有害性	散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、散水以外の適切な消火剤を使用すること。 燃焼の際は、刺激性、毒性、または腐食性のガスを発生する恐れがある。 極めて燃えやすく、熱、火花、火災で容易に発火する。引火性液体および蒸気 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	消火後、再び発火するおそれがある。 可燃性のものを周囲より素早く取り除く。 危険でなければ、火災区域から容器を移動する。 容器が熱で晒されている時は移動させない。移動不可な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離して、関係者以外を近づけないようにする。 風下の人を避難させ、漏出場所から人を遠ざけること。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。 作業者は、適切な保護具を身につけ、眼、皮膚への刺激やガスの吸入を避ける。 密閉された場所に立ち入る前には換気する。
環境に対する注意事項 回収、中和、封じ込め 及び浄化の方法 二次災害の防止	排水溝、下水溝、河川に流出しないよう注意すること。環境中に放出してはならない。 少量の場合は、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させること。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉可能な容器に回収すること。 付近の着火源を速やかに取り除くこと。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への混入を防ぐこと。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	皮膚、粘膜または着衣に触れたり目に入ったりしないように適切な保護具を着用すること。 容器はその都度、密栓する。 取扱場所及び周辺の火気、静電気、衝撃火花などの着火源の存在を厳禁すること。 静電気対策のため、設備等は接地し、電気機具類は防爆型（安全増型）のものとすること。 蒸気の発生する場所には局所排気装置を設けること。
安全取扱注意事項	漏洩、飛散などせず、蒸気発生を極力抑え、作業環境を許容濃度以下に保つよう努めること。 異物との混合、酸、アミン、金属、木・紙などの可燃物との接触を避ける。 スプレーダストや製品が付着した布、紙などが積み重なると、自然発火する恐れがあるので、 廃棄するまで、水に浸けておくこと。 指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外、または換気の良い場所で作業すること。密閉場所での作業は十分な局所排気装置を設け、 適切な保護具を着用すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 取り扱う際には、飲食、喫煙はしないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。
保管	
技術的対策	容器を密閉し、冷所で保管すること。直射日光や火気を避けること。
混触禁止物質	高温物、強酸化剤、強酸、強アルカリ、アミン類、金属など。 また木、紙、繊維物などの可燃物を避ける。
保管条件	熱・火花・裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。 施錠して保管すること。
容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。 容器は密閉式で、破損、腐食、割れなどの無いものを使用すること。

## 8. ばくろ防止及び保護措置

各成分管理濃度、許容濃度

成分 番号	内容成分 (化学名または一般名)	管理濃度 [ppm]	許容濃度 [ppm]		
			日本産業衛生学会	ACGIH(TWA)	ACGIH(STEL)
2	トルエン	20	50	20	-
3	キシレン	50	50	-	-
4	エチルベンゼン	20	50	20	-
5	メタノール	200	200	200	250
6	エタノール	未設定	未設定	未設定	1000
7	イソプロピルアルコール	200	400	200	400
8	1-ブタノール	25	50	20	-
9	イソブチルアルコール	50	50	50	-
10	アセトン	500	200	500	750
11	メチルイソブチルケトン	20	50	20	75
12	酢酸エチル	200	200	400	-
13	酢酸ブチル	150	100	-	-
14	酢酸イソブチル	150	未設定	-	-
15	ニトロセルロース	未設定	未設定	未設定	未設定
16	二酸化チタン	未設定	未設定	10mg/m <sup>3</sup>	-

## 設備対策

取扱い設備は防爆型を使用すること。  
液体の輸送、汲み取り、攪拌などの設備は、静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
取扱い場所および周辺では、火気、静電気、衝撃火花などの着火源の存在を厳禁すること。  
作業場には蒸気が滞留しないよう全体換気装置、局所排気装置を設置すること。  
タンク内部など密閉場所で作業する場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。  
消防法の規制に従うこと。

## 保護具 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有毒ガス用）、高濃度の場合、送気マスク空気高級機）を着用すること。

手の保護具  
眼の保護具

密閉された場所では送気マスクを着用する。  
適切な保護手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型）

## 皮膚及び身体の保護具

保護長靴、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）など適切な保護衣を着用すること。

## 衛生対策

保護具は保護具点検表により定期的に点検する。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観、形状、色など

灰色液体

臭い

溶剤臭

pH

中性

比重

1.18 (20 °C)

蒸気圧

9,429 Pa (20 °C)

沸点、初留点及び沸騰範囲

79~118 °C

引火点

-1 °C (ダグ密閉式)

発火点

約 480 °C

爆発限界

下限 1.3 vol% 上限 10.5 vol%

溶解度

[水] 水に溶解する成分を含有する。  
[他] 種々の有機溶剤とは一部混合する。

## 10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管および取り扱いでは安定である。

危険有害反応可能性

強力な酸化剤、強酸、強塩基と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件

加熱により発火する。大量に燃焼すると爆発の危険性がある。  
加熱、高温、フレイムおよびスパーク発生装置からは遠ざける。

混触危険物質

強酸化剤、強酸、強アルカリ。

危険有害な分解生成物

蒸気/空気の爆発性混合気体。

その他

加熱分解、燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスを生じる。  
この製品を含んだ布、ハケ、ローラー、ダストなどを堆積や丸めたまま放置しないこと。

1 1. 有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

○各成分の健康有害性情報 製品評価技術基盤機構 (n i t e) : 政府によるGHS分類結果より。

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入ガス)	急性毒性 (吸入蒸気)	急性毒性 (吸入粉塵)	急性毒性 (ミスト)	皮膚腐食性・ 刺激性	眼刺激性
2	トルエン	区分外	区分外	分類対象外	区分4	分類対象外	分類できない	区分2	区分2B
3	キシレン	区分5	分類できない	分類対象外	区分外	分類対象外	分類できない	区分2	区分2A
4	エチルベンゼン	区分5	区分外	分類対象外	区分4	分類対象外	分類できない	区分3	区分2B
5	メタノール	区分4	区分外	分類対象外	区分外	分類対象外	分類できない	分類できない	区分2
6	エタノール	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類対象外	分類できない	区分外	区分2B
7	イソプロピルアルコール	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類対象外	分類できない	区分外	区分2
8	1-ブタノール	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	分類対象外	区分外	区分2	区分2A
9	イソブチルアルコール	区分5	区分5	分類対象外	区分5	分類対象外	分類できない	区分2	区分2A
10	アセトン	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類対象外	分類できない	区分外	区分2B
11	メチルイソブチルケトン	区分外	区分外	分類対象外	区分3	分類対象外	分類できない	区分外	区分2B
12	酢酸エチル	区分外	区分外	分類対象外	区分4	分類対象外	分類できない	区分外	区分2B
13	酢酸ブチル	区分外	区分外	分類対象外	区分3	分類対象外	区分3	区分外	区分2B
14	酢酸イソブチル	区分外	区分外	分類対象外	区分5	分類対象外	分類できない	区分3	区分2B
15	ニトロセルロース	区分外	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
16	二酸化チタン	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	区分外	分類対象外	区分外	区分2B

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 (単回ばくろ)	特定標的臓器 (反復ばくろ)	吸引性呼吸器 有害性
2	トルエン	分類できない	区分外	区分外	分類できない	区分1A	区分1 (中枢神経系 区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分1 (中枢神経系、 腎臓)	区分1
3	キシレン	分類できない	分類できない	区分外	区分外	区分1B	区分1 (中枢神経系、肝 臓、呼吸器、腎臓) 区分3 (麻酔作用)	区分1 (呼吸器、神経 系)	区分2
4	エチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分外	区分2	区分1B	区分2 (中枢神経系) 区分3 (気道刺激性)	分類できない	区分1
5	メタノール	分類できない	区分外	区分外	分類できない	区分1B	区分1 (中枢神経系、 視覚器、全身毒性) 区分3 (麻酔作用)	区分1 (中枢神経系、 視覚器)	分類できない
6	エタノール	分類できない	分類できない	分類できない	区分1A	区分1A	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)	分類できない
7	イソプロピルアルコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分2	区分1 (中枢神経系、 全身毒性) 区分3 (気道刺激性)	区分1 (血液) 区分2 (血管、肝臓、 脾臓)	分類できない
8	1-ブタノール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分1 (中枢神経系、 聴覚器)	分類できない
9	イソブチルアルコール	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	区分外	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分外	区分2
10	アセトン	分類できない	区分外	区分外	区分外	区分2	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分2 (血液)	区分2
11	メチルイソブチルケトン	分類できない	区分外	区分外	区分2	区分外	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	区分1 (神経系)	分類できない
12	酢酸エチル	分類できない	区分外	区分外	分類できない	分類できない	区分3 (麻酔作用、 気道刺激性)	分類できない	分類できない
13	酢酸ブチル	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	区分2 (呼吸器、 中枢神経系)	分類できない	分類できない
14	酢酸イソブチル	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	区分2 (呼吸器、 中枢神経系)	分類できない	分類できない
15	ニトロセルロース	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分3 (麻酔作用)	分類できない	分類できない
16	二酸化チタン	分類できない	分類できない	区分外	区分2	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

## 1 2. 環境影響情報

製品としての安全性試験は行っていない。

○各成分の環境影響情報 製品評価技術基盤機構 (n i t e) : 政府によるGHS分類結果より。

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	水性環境急性有害性	水性環境慢性有害性	オゾン層への有害性
2	トルエン	区分2	区分3	分類できない
3	キシレン	区分2	区分2	分類できない
4	エチルベンゼン	区分1	区分外	分類できない
5	メタノール	区分外	区分外	分類できない
6	エタノール	区分外	区分外	分類できない
7	イソプロピルアルコール	区分外	区分外	分類できない
8	1-ブタノール	区分外	区分外	分類できない
9	イソブチルアルコール	区分外	区分外	分類できない
10	アセトン	区分外	区分外	分類できない
1 1	メチルイソブチルケトン	区分外	区分外	分類できない
1 2	酢酸エチル	区分外	区分外	分類できない
1 3	酢酸ブチル	区分3	区分外	分類できない
1 4	酢酸イソブチル	区分3	区分外	分類できない
1 5	ニトロセルロース	区分外	区分外	分類できない
1 6	二酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

容器、機器装置などを洗浄した排水などについても地面や排水溝へそのまま流さない。

廃塗料などを焼却する場合、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ処理する。

ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産廃処理業者と委託契約を結び処理すること。

塗料製品、廃塗料などは悪臭防止法の悪臭物質に該当するので、廃棄にはこの法規に準じて行う。

汚染容器及び包装 :

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号 (UN No.) : 1 2 6 3 (UN 1 2 6 3)  
 品名 (Proper Shipping Name) : 塗料 (PAINT)  
 クラス (Class) : 3 (引火性液体) (3 (Flammable liquids))  
 容器等級 (Packing Group) : II (II)  
 緊急時対応措置指針番号 : 1 2 8

## 国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。  
 Marine Pollutant : Not applicable  
 航空規制情報 I C O / I A T A の規定に従う。

## 国内規制

陸上規制情報 消防法、道路法の規定に従う。  
 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。  
 海洋汚染物質 : 非該当  
 航空規制情報 航空法の規定に従う。

## 特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

重量物を上積みしない。

## 15. 適用法

消防法	:	危険物 第2条 第4類引火性液体 第1石油類 (非水溶性液体) 危険等級II
労働安全衛生法	:	政令第18条および第18-2条 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (H28/6/1 施行) 名称等を通知すべき有害物
		トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール、エタノール、 イソプロピルアルコール、1-ブタノール、イソブチルアルコール、 アセトン、メチルイソブチルケトン、酢酸エチル、酢酸ブチル、 酢酸イソブチル、ニトロセルロース、二酸化チタン
		名称等を表示すべき有害物
		トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール、エタノール、 イソプロピルアルコール、イソブチルアルコール、アセトン、 メチルイソブチルケトン、酢酸エチル、酢酸ブチル、酢酸イソブチル、 ニトロセルロース、二酸化チタン
		政令第6条 別表第1 危険物・引火性のもの
		有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤等
		特定化学物質等障害予防規則 第2類物質特別有機溶剤等
		エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン
化学物質管理促進法 (P R T R 法)	:	トルエン、キシレン、エチルベンゼン
悪臭防止法	:	施行令第1条 <特定悪臭物質> トルエン、キシレン、イソブチルアルコール、 メチルイソブチルケトン、酢酸エチル
大気汚染防止法	:	特定物質 有害大気汚染物質 揮発性有機化合物
		メタノール トルエン (優先取組物質)、キシレン、エチルベンゼン トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール、エタノール、 イソプロピルアルコール、1-ブタノール、イソブチルアルコール、アセトン、 メチルイソブチルケトン、酢酸エチル、酢酸ブチル
海洋汚染防止法	:	有害液体物質 Y 類物質 Z 類物質
		トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール、 イソプロピルアルコール、イソブチルアルコール、酢酸ブチル エタノール、アセトン、メチルイソブチルケトン、酢酸エチル
船舶安全法	:	危険則3条6 引火性液体類
港則法	:	施行規則12条 危険物 (引火性液体類)
航空法	:	施行規則第194条 引火性液体

## 16. その他の情報

## 参考文献

- 1) 溶剤ハンドブック (1997)
- 2) GHS 対応MSDS・ラベル作成ガイドブック (日本塗料工業会)
- 3) 製品評価技術基盤機構 (n i t e)
- 4) 職場のあんぜんサイト : GHS 対応モデルラベル・モデルSDS情報
- 5) メーカーMSDS等

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点入手できた資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に

関しては如何なる保証をなすものではありません。

全ての化学製品には、未知の危険性や有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証できません。

記載事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策を

ご実施の上、取り扱い願います。